

# Istanbul Weekly vol.7-no.14

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年4月13日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治**：野党、国営製糖工場の民営化に対して反対集会を実施。  
 アクダー副首相が訪日し、安倍総理を表敬。
- 経済**：トルコ政府、雇用創出と経常収支赤字縮減に 340 億米ドルの新規計画。  
 トルコリラ、11 日に対 1 米ドル 4.1920 を記録。
- 治安**：イスタンブール及びビジャエリで ISIL 容疑者 43 名を拘束。  
 湾岸警備隊がアイドゥン県等で不法移民 117 名を拘束。
- 軍事**：「オリーブの枝作戦」により、武装勢力 3,991 名を無力化。
- 社会**：タクシム広場にチューリップ。

### 政治

#### 【内政】

#### ●クルチダルオール CHP 党首、2019 年の選挙に向けてウイサル民主党党首と会談を実施

5 日、クルチダルオール CHP 党首は、CHP 党本部でウイサル民主党党首と会談した。両党首は、同会談で、2019 年の選挙戦で野党間の連携を進めることで一致した。クルチダルオール CHP 党首は、今後も他の政党と会談を行っていきと述べた。（4 月 6 日付 M 紙 18 面）

#### ●野党、国営製糖工場の民営化に対して反対集会を実施

7 日、国内 25 か所のうち 14 か所の国営製糖工場が民営化に向けて入札が行われると発表されたのを受け、CHP はチョルム県で優良党や至福党などと共に反対集会を行った。同反対集会でクルチダルオール CHP 党首は、トルコの砂糖大根の生産量は世界第 5 位であると述べつつ、民営化は、失業者の増加や、身体に悪影響を与えるデンプン原料の砂糖輸入に繋がると批判した。（4 月 8 日付 H 紙 18 面）



（写真は、4 月 8 日付 M 紙インターネット版より）

#### 【外交】

#### ●アクダー副首相が訪日し、安倍総理を表敬

4 日、アクダー副首相は、訪日先の東京で安倍総理を表敬訪

問した。会談では、両国の防災分野における協力関係の一層の強化を確認した。5 日には、アクダー副首相は仙台を訪問し、仙台市長と会談した。アクダー副首相は、仙台市に対し、仙台市の防災に対する取り組みを調査するために、年内にトルコから防災分野の専門家を派遣することを提案した。（4 月 6 日付 M 紙 18 面）



（写真は、4 月 4 日付 BELGE.com.tr より）

#### ●ユルドゥルム首相、アフガニスタンを訪問

8 日、ユルドゥルム首相は、アフガニスタンを訪問し、アブドラ・アフガニスタン行政長官と会談した。同会談では、政治・経済を含むあらゆる分野での両国の協力関係の継続が確認された他、ユルドゥルム首相は、トルコにおけるアフガニスタン人不法移民の送還に対するアフガニスタン側の理解に感謝の意を表明した。（4 月 9 日付 H 紙 18 面）

#### ●エルドアン大統領、ジェエンベコフ・キルギス大統領と会談を実施

9 日、エルドアン大統領は、アンカラでジェエンベコフ・キルギス大統領と会談した。同会談で両首脳は、主に二国間関係、経済や教育について協議した。エルドアン大統領は、会談後の記者会見で、トルコ国際協力庁 (TIKA) が実施したキルギス発展プロジェクトに言及しつつ、両国の関係の重要性を強調した。また、同訪問においては、投資、農業及びスポーツを始めとした 6 件の協定に署名がされた。（4 月 10 日付 H 紙 14 面）



(写真は、4月10日付S紙より)

### ●エルドアン大統領、ラヴロフ・ロシア外相のアフリン支配権のシリアへの引き渡し発言に反発

9日、ラヴロフ・ロシア外相は、トルコがアフリンの支配権をシリア政府に引き渡すよう求めると発言した。10日、同発言を受け、エルドアン大統領は、トルコはアフリンをシリア政府ではなくアフリン市民に引き渡し、そのための適切な時期も我々が決定すると述べつつ、本件はラヴロフ・ロシア外相が決定を下すことではないと反発した。(4月11日付H紙19面)

## 経済

### 【金融政策】

#### ●エルドアン大統領、中央銀行の金利政策を非難

エルドアン大統領は、中央銀行とは金利引き下げについて話し合いを行っているが、自分の外遊中に逆に金利を上昇させた中銀を非難した。一方で、5日、イブラヒム・カルン大統領報道官は、トルコ政府内で金利調整の方針が一致していないとの憶測は真実ではない、と述べた。(4月6日付HDN紙1面及び11面)

#### ●中央銀行総裁：消費者物価安定を維持するために金融政策を行う

チェティンカヤ・トルコ中央銀行総裁は、トルコの弱いリラと高い輸入コストがトルコのインフレ率を上昇させたと指摘した。同総裁は、10日の国会予算委員会で、銀行の金融政策決定は価格を安定させるために行われることを再確認した。(4月10日付HDN紙11面)

### 【為替】

#### ●トルコリラ、11日対1米ドル4.1920を記録

トルコリラの外国為替相場が5日連続の最低水準を記録した後、12日、エルドアン大統領は、この為替の急落を受けて「外国為替を使ってトルコを踏みつぶすことはできない」と述べた。トルコリラは、11日対1米ドル4.1920の過去最低を記録した。(4月12日付HDN紙インターネット版)

### 【経済政策】

#### ●トルコ政府、雇用創出と経常収支赤字縮減に340億米ドルの新規計画

9日、トルコ政府は、新たな雇用創出と経常収支赤字の縮小を目的として、340億米ドルの新規計画を発表した。このスキームは、19社の合計23案件に対してインセンティブが与えられ、新規に3万5,000件の直接雇用が創出されることを目指している。同大統領は、340億米ドルのインセンティブ・パッケージには関税の免除と従業員への保険料に対する支援が含まれており、トルコが経常赤字を大幅に減少させるのに役立つ、と述べた。(4月10日付HDN紙1面及び10面)

### 【企業の動き】

#### ●オヤック、日本郵船と自動車専用の港をコジャエリに建設・運営予定

5日、オヤック港湾社と日本郵船は、1.1億米ドルを投じてコ

ジャエリのヤルムジャに完成車専用港湾を建設すると発表。出資比率はオヤックが55%、日本郵船が45%。エルデム・オヤック・ゼネラルマネージャーは、2019年に開業を目指し、年間78万台を処理するキャパシティを持つトルコ最大規模の港湾になる予定だと述べた。カ石日本郵船代表取締役は、物流サービス統合の流れの中で、既存のサービスをエネルギーやその他の分野にも拡大していくと述べた。(4月5日DUNYA紙インターネット版)



(写真は、4月5日付DUNYA紙インターネット版より)

### 【観光】

#### ●カッパドキア、今年を観光のゴールデンイヤーに

カッパドキア地域に対する外国人観光客の関心が再び高まっており、同地域のホテルの占有率は4月と5月にほぼ100%に達した。今年の第1四半期に観光客の数が大幅に増加し、特に中国、日本及び韓国を含むアジア諸国、中南米、一部欧州諸国からの観光客数が伸びている。(4月9日付HDN紙1面及び11面)



(写真は、4月9日付HDN紙インターネット版より)

## 治安

### 【ISIL関係】

#### ●イスタンブール及びコジャエリでISIL容疑者43名を拘束

6日、警察は、イスタンブールとコジャエリ市内10区16箇所においてテロ対策オペレーションを実施し、ISIL容疑者43名(すべて外国人)を拘束した。容疑者は、戦闘目的でのイラクやシリアへの渡航歴があり、トルコ国内でテロを計画していた。捜索により、ISILのプロパガンダに関するデジタル資料等が押収された。(4月6日付S紙インターネット版)

### 【FETO関係】

#### ●国家情報庁(MIT)が18か国のFETO容疑者80名を拘束

ボズダー副首相は、国家情報庁(MIT)によりこれまでに18か国でFETO容疑者80名が拘束されたと発表した。2016年のクーデター未遂事件以降、数百名ものFETOメンバーが国外に逃亡しており、トルコ政府は、国際社会の協力を得て、FETO捜査を推進している。FETO容疑者の多くは、米国、ドイツ、カナダ、英国に居住しており、アフリカやアジア一部の国は、FETOと関係のある学校を閉鎖するとともに、容疑者を送還している。(4月6日付S紙インターネット版)

## 【DHKP/C 関係】

## ●2015年の在イスタンブール米国総領事館に対する発砲事件の被告に終身刑

9日、2015年8月に発生した在イスタンブール米国総領事館に対する発砲事件に関し、イスタンブールの裁判所は、革命人民解放党/戦線(DHKP/C)の被告に対して終身刑の判決を下した。(4月9日付HT紙18面)

## 【その他】

## ●ブルサ県の警察週間イベントで地区長が銃器の使用訓練

7日、ブルサ県において、4月1日から4月10日までの「警察ウィーク」の一環として、地区長30名がブルサ警察から銃器の使用訓練を受けた。4月10日は「警察の日」であり、毎年、トルコ全土で警察と市民連携の様々なイベントが企画されている。(4月8日付HDNインターネット版)



(写真は、4月8日付HDNインターネット版より)

## ●湾岸警備隊がアイドゥン県等で不法移民117名を拘束

10日、湾岸警備隊は、アイドゥン県クシャダス区において、貨物船で不法出国しようとしたシリア人不法移民79名を拘束した。また、バルクエシル県においても、ギリシャに渡航を企図していたシリアとイラクの不法移民37名が拘束された。2017年中、トルコではパキスタン人1万5千名、アフガニスタン人1万2千名、シリア人1万名の不法移民が拘束された。(4月10日付HDNインターネット版)



(写真は、4月10日付HDNインターネット版より)

## ●内務省が過去1週間の治安成果を発表

9日、内務省は過去1週間の治安成果を発表した。期間中、武装勢力に対するテロ対策オペレーション1,502回を実施し、25名を殺害、8名を拘束、10名を投降させ、シェルター61箇所を破壊し、爆発物1.5トン、手榴弾47個、銃器47丁、弾薬1万8千発以上を押収した。拘束者は、PKK244名、ISIL28名、FETO561名、極左9名であった。薬物対策については、オペレーションを2,683回実施し、441名を拘束した。不法移民については、トルコ全土で1万3,502名を拘束した。(4月9日付HDNインターネット版)



(写真は、4月9日付HDNインターネット版より)

## ●ブルサ県の小学校で保護者が校長等に発砲

11日、ブルサ県内の小学校で警察官の保護者が校長と教師に対して発砲する事件が発生した(動機は捜査中)。2名が負傷し、病院に搬送された。(4月11日付HDNインターネット版)



(写真は、4月11日付HDNインターネット版より)

## 軍事

## ●「オリーブの枝作戦」により、武装勢力3,991名を無力化

7日、トルコ軍参謀本部は、シリアで実施中の「オリーブの枝作戦」により、これまで武装勢力3,991名を無力化したと発表した。また、3月31日から4月6日までの間、トルコ南東部のマルディン、トゥンジェリ、ディヤルバクル、シュルナク及び北イラクにおいてPKK戦闘員108名が無力化された。(4月8日付HDNインターネット版)

## 社会

## ●タクシム教育病院で火災

5日17時頃、ガージオスマンパシャ区内のタクシム教育研究病院で火災が発生した。通報を受けた消防が直ちに消火に当たったが、食堂から出火したと思われる炎は瞬間に燃え上がり、屋根が焼け落ち、外装も焼失した。幸いこの火災での死者は無かった。

(4月6日付HT紙4面他)



(写真は、4月5日付iha.com.trより)

## ●イスタンブールの貯水率90%に達する

イスタンブール県内に水を供給している10のダムのうち、3つが満水となっており、全体の貯水率は90%に達している。(4月6日付HT紙18面)

## ●タクシム広場にチューリップ

6日、第13回チューリップ・フェスティバルの一環として、タクシム広場に何千本ものチューリップが大型プランターに植えられた。訪れた多くの市民や旅行客は、立ち止まっては様々な色のチューリップの前で写真を撮っていた。(4月7日付M紙インターネット版)



(写真は、4月6日付M紙インターネット版より)

### ●バージュラルとバクルキョイ間 12分に短縮される予定

バクルキョイ区とバージュラル区の9キロを結ぶ地下鉄線(バージュラル・キラズル線)の建設は順調に進んでおり、本年末には完成する予定。同区間には8つの駅が設けられ12分で結ばれ、開通後はバージュラル、バフチェリエヴレル、ギュンギョレン、バクルキョイ各地の道路の交通渋滞の緩和が期待されている。(4月9日付HT紙19面)



(写真は、4月9日付HT紙インターネット版より)

### ●コジャエリ県で大気汚染深刻

工場が密集しているコジャエリ県ディルオヴァス区での癌の罹患率はトルコの平均罹患率のほぼ3倍となっている。医師のレポートによると胃癌と肺癌が突出して多く、胎児が母体を通して汚染され、出生時にはすでに喘息を患っている例も少なくない。(4月10日付HT紙13面他)



(写真は、4月10日付HT紙インターネット版より)

### ●コウノトリの飛来始まる

コウノトリの飛来ルートに位置するアタテュルク空港では、航空管制官が離発着する航空機パイロットに注意喚起を頻繁に行っている。特に例年4月は最も飛来が多くなるため注意の回数も急増している。(4月11日付HT紙21面他)



(写真は、4月10日付HT紙インターネット版より)

### ●ムール貝密猟者、現行犯逮捕される

イスタンブール市の行政指導部は、イエシルキョイ区沖のマルマラ海で違法にムール貝の漁をしていた2艘のボートを摘発した。ムール貝は直ちに海に投棄され、ボートの所有者に対して罰金が課せられた。(4月11日付HT紙21面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Inhlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	JP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: [http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\\_j.html](http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html)

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.4.12 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	5件	0件	0件	0件	8件	1件	2件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [国際交流基金巡回展「ウィンター・ガーデン」展開催のお知らせ \(04/13\)](#)
- [イスタンブール大学における江原総領事による日・トルコ関係レクチャー \(報告\) \(04/011\)](#)
- [第9回エルトゥールル事件追悼記念式典 \(報告\) \(04/06\)](#)